

## 平成 27 年度 第 2 回小松市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成 27 年 5 月 14 日 (木)  
開会 17 時 30 分 閉会 17 時 45 分

2 会 場 小松市役所 3 階 3B 応接室

3 出席者 小松市長 和田 慎司  
小松市教育委員会  
教 育 長 石黒 和彦  
委 員 北村 嘉章  
委 員 野田 美和子  
委 員 蘆邊 千鶴子  
委 員 吉原 慎吾【欠席】

(事務局関係)

総合政策部長	早松 利男
総合政策部 経営政策課長	藤井 勝司
総合政策部 経営政策課主査	太田 司
教育委員会事務局 シニアマネジャー	柿本 欣也
教育委員会事務局 教育庶務課長	唐木 和也
教育委員会事務局 教育庶務課担当課長	池田 美和子
教育委員会事務局 学校教育課長	波佐尾 雅人

4 討議事項 (1) 小松市教育大綱に関するパブリックコメントの結果について  
(2) 今後の推進体制について

5 会議の経過及び発言

○開 会

○和田市長あいさつ

○討議事項

(1) 小松市教育大綱(案)に関するパブリックコメントの結果について  
(事務局説明【資料1】)

・4月9日～22日の14日間パブリックコメントを実施。意見等特になし。

(教育委員会事務局説明【資料2】)

- ・校長会を通して寄せられた意見について説明。

<議長：和田市長> ただ今の説明について、皆さんの意見はいかがか。

<蘆邊委員> 校長会意見の中で、地域ポリシーについて学校・家庭・地域・関係機関がそろって取り組んでいくことが明記されており大変良い。

<議長：和田市長> それを受けてアクションプランや推進体制が重要と思われるが、アクションプランの作成について教育長の考えは。

<石黒教育長> 小松市教育委員会には「学びの道しるべ」があり、教育大綱もこの「学びの道しるべ」を基本に構成されている。しかし、教育の方向性は少しずつ変わっている。アクションプランの作成については、8月末を目途に進めていく。

<議長：和田市長> 目標値や表現等の見直しも必要。

<北村委員> 大綱もできるので、整合性のとれたアクションプランへの見直しが必要。

<議長：和田市長> それでは、教育大綱（案）について合意・確定でよいか。

<市長・教育長・教育委員一同> 小松市教育大綱（案）について同意・決定。

<議長：和田市長> アクションプラン等については、随時進捗状況等について説明するというようお願いしたい。

## (2) 今後の推進体制について

(教育長説明)

- ・アクションプランの一環として、教育委員会の組織のリニューアルを検討。
- ・背景として大きな社会変化、価値観の多様化などがある。また、英語教育の低学年化や高度化など、教育内容も変化してきている。さらに、いわゆる教育再生として、何を教えるのか、どう教えるのか、どう評価するのかが、重要と言われている。
- ・よって、教育委員会事務局の見直しとして、未来の教育を調査研究する組織、教育センター機能の拡充、子どもたちの心のケアなど青少年育成の取組体制の強化などを考えている。

<議長：和田市長> 組織名等についてはこれからになるが、教育長の説明を確認すると次のとおり。

- ・従来から北村委員が提唱する教育のシンクタンクとして、未来の教育を調査研究するセクション。
- ・教育センターについては、先進的な教育ということに力点。

- ・現在の生涯学習課は青少年からお年寄りの方まで多岐にわたっている。生涯学習課を発展的に見直し、教育委員会事務局としては、青少年の育成における専門性を高め、青少年以外の部分については市長部局に移すというもの。現在、いきいきサロンや町内会活動など色々やっているの、その辺との融合性を図っていく。  
以上、皆さんの意見はいかがか。

〈野田委員〉 今ほどの方向性でよいと考える。

〈北村委員〉 これからは未来志向で考えていくことが重要。戦略・戦術をしっかりと考えるシンクタンク的な課が必要。教育センターも学校教育課もその戦略を受けて、未来志向で新たな政策を考える必要がある。

（仮称）青少年育成課は、青少年に特化して推進する。市民にとって何が必要で何が効果的か。その辺を考慮すれば、公民館は市民サイドにもっていくのでよいと考える。

〈石黒教育長〉 公民館について、教育委員会から市長部局へ移管することとなるが、子どもたちの育成の場としてシニアとの交流もあり、互いに連携しながら進めることが重要。

〈議長：和田市長〉 あくまでもハード管理を一元化した方がよいというものであり、これまでどおり、連携は緊密に行っていくことが重要。

〈蘆辺委員〉 青少年育成については、次代を担う子どもたちのためであり、この点を重点的にやっていくのはよいと考える。

〈議長：和田市長〉 推進体制の方向性については同意ということによいか。詳細は、教育長と自分で調整していきたい。条例の改正等も必要なため、実際の体制づくりは6月議会後ということになる。

〈市長・教育長・教育委員一同〉 今後の推進体制について同意。

#### ○その他

〈石黒教育長〉 本市出身の塗師祥一郎先生が6月から市立高校で毎月講師をしていただくこととなった。先日オリエンテーションが行われたが、多くの生徒が自主的にメモをとっていた。本物の方が語る言葉に改めて感心させられた。

#### ○閉 会